

ダウントゥアース カパアート

ダウントゥアース カカアコ店のインテリアは、ダイヤモンドヘッドを背景に地元の農産物や農場を特徴とする同店のロゴから見て分かるように、各店舗がハワイにあるためハワイのルーツを反映しています。

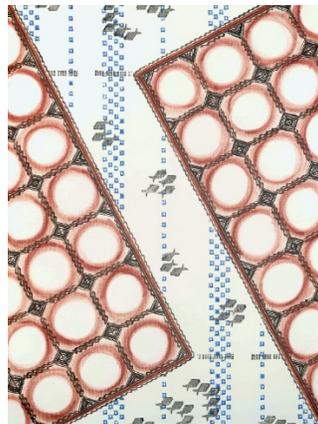
ハワイ州の公式モットーを店頭で展示しています：“ウア マウ ケ エア オ カ アイ ナ イ カ ポ ノ。”（大地の生命は正義によって保たれる）。ハワイ州のモットーにインスパイアされたダウントゥアースは、ハワイアンのカプナ（先駆者）そしてハワイ大学の語学研究者たちと協力し、ハワイ語のスローガンを作成しました。“エ マー ラ マ イ カ アイ ナ、イ オ ラ ポ ノ”（大地を大切にし、健康でかつ調和の中で生きる）。このスローガンは、またカカアコ店のインテリアの中でも重要な役割を果たしています。

“店頭で目を引くハワイ州のモットーと同店のハワイ語スローガンは、この土地とその人々(アイナ)に利益をもたらす権利(ポノ)活動に従事するダウントゥアースの情熱的なミッションに反映しています。ダウントゥアースは、このハワイの価値観とその使命を、ベジタリアンニズムへの献身を通し、地元のオーガニック農業と持続可能な農業への支援を行なっています。私たちは、土地の保護と大切さ、身体に良い健康食品の提供、お客様やハワイの人々に健康的なライフスタイルをおくる方法を啓発することに努めています、”とダウントゥアースCEOマーク・ファーガソンは語っています。

ハワイのルーツとの一体化をさらに引き出すため、ダウントゥアース カカアコ店のインテリアデザインは伝統的なハワイアン カパアートをインテリアの重要な鍵としています。

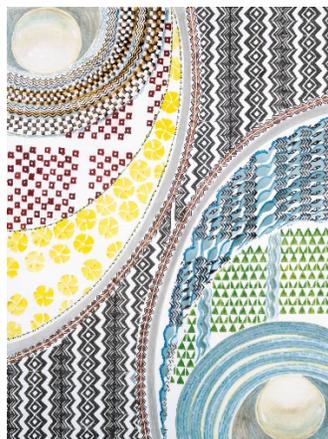
ハワイアン カパや樹皮布のデザインは、西洋からの影響以来進化しています。通常、線、幾何学的形状や小さな繰り返しパターンのデザインは、元々手作業で描かれていました。最も美しく装飾的なカパはアリ(王様)または首長の所有物でした。特定の色やデザインは、聖職者クラスや異なる一族に所有される場合もありました。カパは、衣服、税金、貢物、贈り物、貿易、寺院、神聖な儀式、そして埋葬の際のラッピングとして使用されていました。ハワイでは、先祖代々伝わる知識が分かるまでに 100 年近くの空白がありました。現在、カパメーカーは伝統的なデザインを使用し、アートのリバイバルの一部として新しい意味を付け加えています。新しいダウントゥアースストアのカパデザインは、20年以上に渡りカパアートを扱うローカルアーティストであるネイティブハワイアンのダラニ・タナヒ(Dalani Tanahy)によってデザインされました。

カパアート — ダウトゥアース カカアコ店



古来、カカアコは漁村、フィッシングポンドそしてソルトポンドが占めるエリアでした。塩は伝統的にネイティブハワイアンにとって貴重な生活必需品であり、ソルトポンドは19世紀後半のカカアコ塩生産所の建設に繋がりました。これらの歴史的事実は、伝統的なモチーフを使用するカパデザインを通じて表現されています。ダラニは、彼女の創造的なインスピレーションとカパデザインの理解を通し、このアートに特別な意味を与えています。

カパアート— ダウトゥアース パールリッジ店



パールハーバーエリアにマッチするデザインをする際、ダラニはこの土地に生息する真珠とカキの海底、ソルトポンドとフィッシングポンド、山から流れ出る湧き水、そしてタロ畑などの全てにインスパイアされています。黄色のマオフラワー *gossypium tomentosum* は、女神ペレの最年少の妹であるヒイアカがこの土地を訪れたとする伝説を表現しています。このデザインのいくつかの要素は、真珠湾水域の守り神であった有名なサメの女神カアフパハウを偲んでいます。

カパアート --- ダウントゥアース カイルア店



このカパのデザインは、キヘイ・ド・シルバとザ・ブラザーズ・カジメロによって歌われる美しい歌「マブナ カ ハラ オ カイルア」からインスピレーションを得ています。このモオレロ神話のキヘイによる再解釈、または伝統的な物語は、女酋長ケケレに属するハラツリーの林の伝説を物語っています。木が無くなった後でも樹木の香りはとても豊かで、魅惑的な香りはまだ風に乗って香っていました。モオの女神ハウワヒネはカワイヌイ池の守り神であり、すべての酋長たち、そしてその地域に住む人々とうまくいけば、土地は肥え、魚は豊富でした。そうでなければ、ポノが回復するまで、谷の繁栄をさらい、ハウワヒネは去って行っていたでしょう。

アート オブ カパ

ダラニ・タナヒ (カパ プラクティショナー)

私は約 70 年間、“失われた、”またはもう少し正しく言えば脇に置かれていたこの芸術形式のプラクティショナーです。世紀の変わり目に、西洋からの影響を受け技術がより良くなったにもかかわらず、ハワイの女性たちはネイティブ樹皮布またはカパをもはや作っていませんでした。20 年以上の間、この芸術を復活することに一翼を担ってきた者として私が絶えず骨を折っているのは、先祖たちの努力により達することができた高品質さと細かさのレベルに到達することです。この芸術を伝承していく人が誰もいなかったため、得ることのできた情報、オブザ ーバーレポート、博物館のコレクション、そして南太平洋諸島で祖先から受け継ぎトレーニングされたプラクティショナーたちによる樹皮布作りから独自の作り方を模索し、カパを再現しようとしてきました。私は自分で私独自のペーパーマルベリーの木を栽培し、道具も自分で作りました。また、広範囲に渡って伝え、常に私の生徒がただのカパから何を新しく作りだすのかということに常に目を留めていました。私は、最初ワイアナエのカアラファーム社で、次は自分のビジネス、カパ ハワイ社で“プロ”のカパメーカー、そして教師であることは、とても幸運なことであると感じています。そして、この伝統的なハワイの芸術を広めることで自分自身そして家族をサポートできることに毎日驚き、感謝しています。

プラクティショナーとして、私たちのクプナまたは祖先の作品を敬うため、古いカパから発見したデザインとパターンを使用したいと思っています。アーティストとしても、ハワイの古代カパメーカースタイルが輝くよう努めながら、古代芸術も生き生きとさせ、現代と融合させることにも努めています。たとえ、古来の人々によるテーマや、解釈がなされているものがあつたとしても、このデザインの意味を説明する情報が私たちには与えられていませんでした。これは、私がカパをただ叩いたり、打ったりしているだけの人物ではなく、もはやリバイバリスト/文化のプラクティショナー/解説を施すストーリーテラーであると私自身は考えています。特別なカパの製作を依頼された際は、私はカパ、オヘ カパラ スタンプ、染料、私が見たり行なってきたりしたカパの知識及び体験を吟味した後、新しいビジョンと物語を創り出します。いくつかのデザインは他のアート、例えばペトログリフのカービングに描かれている魚などから引用しています。あるデザインは分かりやすく、他のデザインはやや分かりにくいかもしれませんが。他のデザインまたは色は、全体のアートとのバランスが良くなるよう配置されています。カラフルで活発なデザインであるかもしれない一方、私の研究によると、ネイティブの人々がかつて依存していたこれらの天然資源、熟練さ、そして物語が損失しているため、私を悲しくさせました。みなさんがこのイメージを見る度に、古代そして現代のネイティブアーティストたちに感謝の気持ちを持ち、違う何かを発見したり、または見る度に隠れていたものが表に出て明らかになるようなデザインのエレメントに気づいていただけることを希望いたします。

#